

2013年度活動方針

自治体からの補助金を前提とした、北総線の現行運賃体系の枠組みは、26年度末で切れます。この一年間は「補助金なしなら、値下げ前の運賃に戻す(値上げ)」と言っている北総の理不尽にたいして、市民が要求し続けている「補助金なしの値下げ」が、最大の焦点になります。

白井市・印西市に出された「北総鉄道運賃に関する調査報告書」では、補助金なしの10%値下げ」が上限になっています。しかし、この中身は京成が「北総鉄道からの利益移転の仕組み」を維持したままでの結論です。

京成は北総鉄道からの利益移転(北総線利用者からの吸い上げ)の手法として、2段階の仕組みを採っています。

一つは、成田空港線の北総線ただ乗りです。

もう一つは、千葉ニュータウン鉄道を利用した北総収奪です。

ですから、これらの仕組みを広く知らせ、「親会社京成に高運賃是正の責任がある」ことを世論とすることができれば、いまや大手民鉄で最高の株価になった京成の利益や企業体力からしても京成本線並の運賃にすることは可能です。

京成電鉄の責任を質すことや県・沿線自治体への働きかけが特に重要になっています。このような情勢のなか、当会は本年度の活動方針として次のことに取り組みます。

- ① 沿線住民の世論をしっかりとものにしてい(京成の責任、国の責任を明らかにする)
北総線高運賃問題は、「異常な高運賃を是正して、社会的不公正・不正義を正し、沿線住民の暮らしを守るとともに地域の発展を願う取り組み」という共感と認識を全国的レベルにまで広げるようマスコミや各界へ働きかけていく。
- ② 白井・印西の市長や市議会、その他の沿線各市や市議会(県、国会も同じ)との接触を強め、積極的に動いてもらう。印西・白井市長とも公約等で、「北総運賃は、補助金なしでさらなる値下げを」と表明しています。このことを実現させるために署名、請願、宣伝などを行ない、行政とも連携しながら運動を進めていきます。
- ③ 国会や県議会、各市議会で問題を取り上げてもらい、高運賃是正の力にする。
- ④ 「北総線値下げ裁判の会」「違法専決 NO!の会」の運動とタイアップして、世論作りに努める。そのため、講演会その他の多彩な取り組みを企画する。
- ⑤ 自治会・町会の皆さんのお力添えをいただき、様々な角度から世論作りをする。
- ⑥ 以上の運動を進めていくために、新しい層への会員拡大、組織の在り方等長い目で見た運動の構築検討・寄付金の増加に努める。
- ⑦ 昨年に引き続き、ふるさと祭り等に参加し、市民からの意見集約に努める。
- ⑧ 沿線住民の利便性向上としてのバス運行運動をサポートしていく。
- ⑨ 北総・京成と交渉していく。

運動の進め方としては、これまでも進めてきた、HP・メール・チラシ・電話・集会・陳情等々可能な手法を総動員します。